

ゆうゆうの郷

# 謹賀新年 2012. 1. 吉日

おにしか更生園 第40号 / ほっぷすてっぷ 第9号



たくさんの思い出と皆の笑顔で溢れていた昨年…  
今年も元気一杯、思い出いっぱいの1年になりますように…  
それと日本の 北海道の 小平の 鬼鹿の 皆が笑顔で  
過ごせますように… (とつてもよくばりな願いですが)

謹んで新春のお慶びを申し上げます

利用者77名（入所60名、通所17名）と職員50名が健やかに新年を迎えることができたことをまずもって感謝したいと思います。

昨年は耐震化とスプリンクラー整備、居室の個室化と段差解消、断熱性を高めた電気暖房化等々、改修に明け暮れた1年でした。

利用者の我慢と多くの方々の力添えで、明るくより安全な環境に生まれ変わる事ができました。

建物は良くなったけど・・・とならないよう支援レベルの向上に努めて参ります。旧に倍してのご指導をお願い申し上げます。

おにしか更生園施設長  
濱野修二

謹んで新春のご祝詞を申し上げます

昨年は、更生園の改修に伴い、利用者皆さんの念願であった居室の個室化を実現することが出来ました。

これもひとえに小平町をはじめ関係各位のお力添えの賜物と保護者を代表いたしまして厚くお礼を申し上げます。

また、施設の歴史と共に高齢の方も増し、館内のバリアフリー化も進めることが出来、施設で生活を送る方の安全で安心そして清潔な暮らしの整備をして頂いたと思っております。

今年も利用者、職員、保護者が一体となり、皆さんの生活も心も豊に過ごせるよう努めてまいりますと念願しております。すし、皆様にとりましても夢膨らむ、良い年となりますよう祈念し年頭の挨拶と致します。

おにしか更生園ほつぷすてつ保護者会々長  
宮崎末好

敬頌新禧

昨年は、開設から8年が経ち、ボイラー、洗濯機等々、色々の修理が多い年でした。

そこで9年目の今年、物（者）を今以上に大切にすることを年頭の目標と致しました。

今年はさらに事業の変更（多機能から就労継続B型事業所へ変更）もあり、収入が下がることも予測される為、皆協力し合い「小さな処からコツコツ」とでは無いですが、丁寧な物の使用と節約に務めたいと思っております。

そうして平成25年施行予定の障害者総合福祉法（仮称）に小さな事から備えて行きたいと思っております。

年頭初志



ほつぷすてつ施設長  
丸田英一

第21回スポーツ交流会

10月5日、旭川大雪アリーナで道北各施設の利用者さんが参加してのスポーツ交流会が催されました。

参加される方たちは楽しみにしていたらしく、早朝の出勤にも関わらず、皆早起きして職員が来るのを待っておりまして、当然、会場には1番乗りで、

まだ誰もいないアリーナの中に入ると、大きさや広さに少々圧倒される方もいました。しかし、いざ競技が始まると、皆さん臆することなく競技に集中しており、力一杯走っている姿を見るに普段以上の力を出していたのではと思います。

また、競技の中で、徒競走で反対に走る方等々、茶目っ気タップリに皆を笑わせてくれた



利用者さんもいて、大いに場を盛り上げてくれました。

成績については、個人種目で上位入賞が沢山あったのですが、各施設を大きく四つに分けたチーム戦は健闘むなしく3位でした。ただ今回の参加で達成感や一人一人の頑張り、成績以上に得がたいものであり、今後、皆さんの糧となつてもらえればと思います。

来年は優勝だ！  
(記 佐藤浩)

餅つき会

12月15日、恒例の餅つきが体育館にて行われました。利用者皆さんが一堂に会し、餅をつき、丸めた後は、さあー会食☆暖かいお汁粉に、雑煮・きな粉にゴマと全種類を美味しく頂きましたが、中には腕子そば状態、次から次へと取りにきては、口へ口へ・・・ちよつと後が心配という方も中にはいましたが、その後お腹は大丈夫だったかな・・・まあ楽しく過ごせてなによりでした。



(記 小松)

その2日後の12月17日は利用者の土曜日余暇支援として、ほつぷすてつにおいても毎年恒例の餅つきを行いました。杵と臼は更生園から借り、玄関ロビーにて皆で餅をついたり、丸めたりと楽しい時間を過ごしました。

皆さん仕事の時より真剣な眼差しで黙々と杵を振っていました。

つき上がったお餅は、お雑煮・お汁粉・きな粉餅などにして美味しく頂きました。

しかし、その食べたお餅は、いったい皆さんの何処に身になるのかはとっても心配・・・



(記 槻)

# 耐震化工事・スプリングクラー等の工事が完了

平成21年6月、小平町とスプリングクラー整備について協議を開始、2年6ヶ月に亘る改修事業の始まり。

当時おにしか更生園は開設から25年が経過し、堅牢な建物にも経年劣化と平成16年の台風・地震の影響が残り、修繕が必要な箇所が散見されました。

折しも消防法の改正で平成24年3月までにスプリングクラー設置が義務付けられたこともあり、これらの課題を解決するために留萌振興局・小平町・新生会役員会と、度重なる協議の場が設けられました。

園内にも係長・課長・施設長からなる検討委員会が設けられ細部に亘る計画案作りが行われました。

4半世紀を経てのリニューアル、委員から課題が次々と出され計画は膨らんで行きました。耐震化とスプリングクラーに加え、地震の際に温水配管が破断したことからの暖房を電氣化できないか、そのためには建物の断熱レベルを高めることが必要など多様な意見が出されました。

また、障がい者自立支援法による新体系移行の前段階で実施された、利用者の意向調査「今後どこで暮らしたいですか？」の問いに10数名の方がケアホーム等を利用して街で暮らしたいと答えました。このことを踏まえ、街で暮らす



自分だけのお部屋が出来ました

移動できるようまた、転倒の懸念がある方が躓かないよう園内

ための住宅確保と支える体制づくりが進められ、併せて、入所定員を低減することで居室を1人部屋にできないか、間仕切りを軽量化に変えることで免震性を高めることができないか。音に敏感で不安定になる方に遮音室を、車イス利用の人が自由に

このため平成20年に国が各都道府県に臨時特例交付金で基金を積み増し、社会福祉施設の耐震化やスプリングクラー整備を促進するために設けられたもので、該当する改修費の4分の3を補助するものでした。

当初、園舎の所有者である小平町が主体で進める予定でしたが、地方自治体はこれらの補助金を受けることができず、新生

会が建物を譲り受け改修を進めることになり、平成22年8月5日に建物の無償譲渡が行われました。

耐震化と関係の薄い断熱サッシへの取替や建築年が平成三年と比較的新しい女子棟のバリアフリー化等は補助対象外になり補助金の自己負担4分の1と対象外の工事費で1億円を超える資金が必要になりました。

施設を取り巻く制度が目まぐるしく変化している時に、先が見通せない時に大きな借金は危険との思い。

「すべて出来るのか?」「何を諦めるか」自問する日々が続きました。

小平町長をはじめ担当課・町議会の方々がその必要性を汲んで下さり、自己負担の2分の1

を担って戴けることになりました。

この力添えがなければ、利用者の生活環境は今より間違いなく寒く、危険なものであったと思います。

また、設計・監理を担当戴いた設計事務所(旭川)の平野設計部長には無理難題を持ちかけましたが、その経験と英知で解決策を導き出して戴きました。工事を請け負って戴いた荒井(旭川)・吉田(小平)共同企業

体の尾形所長をはじめとするスタッフの皆さんには、改修故の難しさ「解体してみなければ分からない」「状況でしたが、一つ一つ丁寧に克服戴きました。また、工程に支障がでることもいとわず利用者の生活を大切に考えていただきました。

利用者の皆さんは、夏の暑い日、晩秋の寒さ、体育館や生活訓練室に仮設した居室で我慢してくれました。環境が良くなるための一時的なものでしたが不自由なことも多々あったと思います。

支える職員も不測の事態に備え神経を使ったことと思います。大過なく改修工事を終えることができたのも職員一人一人の目配り気配りがあったがためと考えます。

工事前にある男性利用者が同室者とトラブルになり私の部屋に「いつになつたら、一人で行られるようになるのか」訴えてきました。秋まで待つてくれるように話す「頼む」と一言。それから数ヶ月、自分の部屋が完成し引越した日の夕方、



寮の入り口からのショット

ができましたことを心より厚く熱く感謝申し上げます。ありがとうございますございました。

(記 濱野)



# 23年度旅日記



## やすらぎ寮一泊旅行

10月20日～21日で支笏湖方面へ行ってきました。初日は新千歳空港を見学。あまりの広さに驚愕。買い物や飛行機の離発着を観て楽しんでいました。夜は丸駒温泉にて露天風呂につかり、ゆつくりと星空を眺め、宴会ではやすらぎ寮らしさの盛り上がりで、ある方はお酌をして回るといった一幕もあり、最高の笑顔を見る事ができました。

2日目は円山動物園。果たして動物にみなさん関心があったのか無かったのか・・・置いておいて、見慣れない生き物に興味津々？旅行の締めはやはり「食」。松尾ジンギスカンにて飲んで食べて、しつかりと締めくくり。はてさて、来年はどんな笑顔を見せてくれるのかな？

(記 三浦)



丸駒温泉にてハイポーズ♪

## はばたき寮一泊旅行

10月13～14日で、洞爺サンパレスに行ってきました。サンパレス・・・なんだかんだで毎年プール旅行に行っているような？もうすっかり常連さんです。今年も、食べて遊んで、ちゃんと寝よう！をテーマに行ってきたわけですが、旅行の特別なテンションで、皆さんが眠れたかどうかは・・・ここでは触れないでおきましょう☆砂川SAで、ジンギスカンをお腹いっぱい食べて、プールで食べた分しっかりカロリー消費して？毎年思いますが、旅行中の皆さんの笑顔は印象的です。準備も大変、行くまでのソワソワ感も大変、当日もバタバタ・・・だけど、皆さんの楽しそうな様子をみると、「ああ。来て良かったな」と思います。改修工事で、色々大変な思いをした分のごほうびですね!!

次回は、どんな旅行になるかわかりませんが、皆さんの最高の笑顔にまた出会えることを期待して

(記 福田)



松尾ジンギスカンにてピース♪



## 二(古)・き(喜)・さん(傘)の日帰り旅行

去る10月4日大安吉日に、やすらぎ寮70～80代の方5名の日帰り温泉旅行に行ってきました。場所は、東神楽町に在る「森のゆ花神楽」温泉です。

今回の旅の目的は、のんびりと湯船に浸り、美味しい食事を堪能することです。当日、5名の方たちは、大浴槽で身体を癒して、お互いに背中を擦り合う場面も見受けられました。夕食は焼肉を食べましたが、皆さん食欲旺盛で食べている顔は歳を感じさせないほど見事な食べっぷりでした。

(記 岩村)



お膳の前にニコニコ♪



## ほつぷすてつぷ一泊旅行

7月26～27日・28～29日の2グループに分かれて札幌市、千歳市、三笠市の3市巡りに行ってきました。

1日目は札幌市内の焼肉バイキング店で、お腹一杯屋食を食べ、その後には丸駒温泉にて色んな動物を見て楽しみました。しかし肝心の動物たちが連日の暑さのため(この日も快晴!)日陰で寝ており、見えないう残念な見学になってしまいました。

その後は支笏湖休暇村へ移動しお風呂や食事を楽しまし日頃の疲れを癒しました。この度の宿泊旅館は娯楽設備が無く、今回の最大の目的である「身体と心のリフレッシュ」は達成できなかったのではないのでしょうか。

2日目は三笠市のイオンへ寄り、衣類などの買い物を楽しみ夕方には無事帰宅することができました。

今回の旅行は、グループ通じて、事故・怪我が無かった事、「楽しかった」と支援者に労いの言葉をくれた利用者さん、また暑い中にも関わらず参加してくださった多数の保護者の方に感謝申し上げます。また、次の旅もお楽しみに・・・

(記 野崎)



友達の和! 家族の和! 皆の和

## もえぎ寮一泊旅行

11月1～2日の日程で旭川東神楽町「森のゆ花神楽」温泉に行ってきました。天候もこの時期では珍しいほど良く、小晴り日に恵まれ、さらに気分良く楽しんでくる事ができました。

初めに向かった「大雪乃蔵」では、屋敷を食べてから酒蔵の見学をしました。酒造る工程や機械の見学でしたが予想外にみんな真剣な表情が印象的でした。

次に向かったのが温泉に近い所にある森林公園を散策し、少し運動をしたところで温泉に到着です。

そこで、みんなホテルを想像していた様子でしたが、宿泊するのはコテージだったので、今までとは違った雰囲気ということもあり楽しく過ごしていました。

宴会では、料理、カラオケを満喫し時間を忘れてはしゃいでいる姿が今でも目に浮かびます。そんな皆さんの心に残る、思い出の1ページになる旅行になれば本当にうれしく思います。

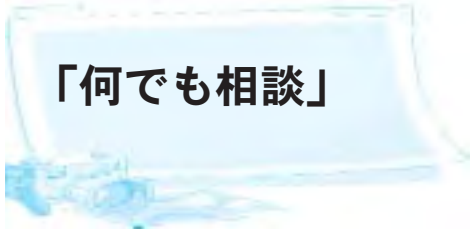
(記 千代谷)



食べ放題でいざ勝負♪



H23年度の「何でも相談」は、ご利用者様からの、申し出が特にありませんでしたので、11月21日に第三者委員の角谷ヒサ子さんに来て頂き「何でも相談」日を設けました。



当日は、話をしたいという利用者様が3名いらっしゃいました。お一人目は母親を亡くされた事を報告されました。学園で仕事は楽しく、早く売れるような作品を作りたい、頑張ると話をして、角谷さんから、又会いに来るので頑張ってくださいと励まして頂きました。

お二人目の方は日常の生活や活動の様子を話され、頑張っていると胸を張って話されていました。毎日昼休みに運動と健康を兼ねてローソンまで通っている方で、そこで角谷さんとも会っていたという事で話も弾まれました。



三人目の方は自分で何を頑張っているのかなどを書いた手紙を持参され角谷さんに見せながらお話をしました。早く実家の岩見沢で家族と暮らしながら働きたいと希望を話されました。体調が良くなり夢が実現できるような、応援して欲しいと言われ、本人もちゃんと薬も飲み頑張りますと宣言していました。

(記 中田)

### 衛生管理者の配置

本来であれば前回の機関紙(夏号)に掲載するべきものですが、何故か何故か抜けていましたので今回ご報告をいたします。

昨年4月、更生園の生活介護事業においてサービスの質を高める事を目的に職員配置を1.7としたことで、職員が50名を越えることとなり、基準上から常時50名以上の労働者を使用する一定の事業所において選任が義務付けられています。

職務としては、「労働衛生」と「労働安全管理」に分けられるが、労働安全衛生法では、「労働災害の防止、危害防止基準の確立」「責任体制の明確化」

■自主的活動の促進  
■職員の安全と健康確保  
■快適な職場環境の形成  
などがあげられています。

管理者の選任は、事務員の田中芳幸さんが第二種衛生管理の試験を無事、昨年4月に取得し任命されました。



衛生管理者 田中 芳幸さん

田中さんは、他中田課長、看護師等々6名で構成され、産業医は、当法人の理事でもあります東ヶ丘病院長の永井久之先生へお願いを致しました。  
良い仕事をする為には、まず職員が健康であることが一番かと思えます。  
まずは、確りと健康チェック！

### AED・救命救急講習

年の瀬も押し迫った12月16日、新任職員及び希望者を対象にした「AEDの取扱い及び救命救急」の講習を実施いたしました。場所は、更生園体育館であった為寒く、また仕事を終えてからの講習であったためお腹の状況ではありましたが、新任職員を含め30名程の参加者があり、参加された皆さんは真剣に講習を受けておりました。



また、消防の方に積極的に数多くの質問を皆さんして頂きました。今回、AED講習を行いました。感じたことは、実際に人命救助をする状況になった場合に迅速に対応を



人形でなければ…??

とれるか?と問いかけられても正直なところ自信が無いのが正直な気持ちです。しかし、このような講習を定期的に実施し、受講することで、「継続は力」ではないですが、いざといった場面でも落ち着いて対応をとっていただけるのかなと感じました。

ただ、出来ればこういったことをしなければならぬ場面が無いことが望ましいのです

(記 田畑)

### 第12回 すずらの会

一道北の本人さんの会

盛会に開催される

参加者の皆さんは食い入るように見っていました。午後からはピアカウンセリング講座が行われ、10グループに分かれ自己紹介と簡単なゲームで緊張がほぐれた後は、仕事のことや休日の過ごし方、将来の夢や悩み事等、皆さんそれぞれお話をされていました。最後に橋本さんが「勉強になりました」と自ら手を挙げマイクを持って堂々とお話を

していました。がとても印象的でした。(記 東)



リーダーシップとは何か

『リーダーシップとは、集団が共有している目的を達成すべく、その集団に参加している人を誘導していくプロセスの事を指す。従来は指導力や統率力の意味で使われていたが、現在は対人影響力という幅広い意味で捉えられている』。当法人では年1回、法人内幹部職員を中心とした研修会を実施しています。

法人幹部職員研修会

現在、社会福祉法人新学生会職員200名を超える組織。

その中であつて、リーダーシップがいかに発揮されているか：ということも組織力を高めるための有効手段の一つであると考え、今年は10月7日、5施設3事業所から30名の

職員が参加し、冒頭のテーマに沿った学びや実践に取り組みました。

研修の中では、「聞く」「聴く」「訊く」の違いや傾聴の時のポイント、「思考の進展」「可能性を引き出す」「自立と決断を促す」「質問の仕方」「褒める」より「認める」事で相手のモチベーションがいかに高まるか持続されるか：などといった組織内における効果的な対人関係づくりや、自分自身がどういったタイプのリーダーであるのかが浮き彫りとなる自己診断テストなど、短時間ではありましたが、内容の濃い研修会となりました。「障害者自立支援法」施行後、仕組みの変化など混沌としている障害福祉分野ですが、本研修で学んだリーダーシップの極意を少しずつでも発揮できれば：と思います。(記 森田)

道北福祉協会 新任職員研修会

10月27日、28日の2日間に亘り、比布町にて新任職員を対象とする研修会に参加させて頂きました。

初日は、旭川福祉専門学校講師の大澤邦昭氏より「新任職員としての福祉の心得え」仕事の基本とは、大雪の園施設長の小柴守氏より「コーラスと当事者活動報告」の2つの講話を聞かせて頂きました。

どちらの講話もとても印象深かったのですが大澤氏の講話では、利用者の方への自立・理解について判り易く説明して下さい、改めて支援をするという事の重大さ・責任を感じる事が出来ました。

その後の交流会では、他の施設職員と交流することで多くの刺激や新しい発見をすることが出来ました。また、夜のナイトセッションでは「支援技術の基本」という題材を元に、グループに別れて意見交換をしました。



2日目は、「利用者支援について」のテーマでグループディスカッションを行いました。グループ皆さんの意見を出し合い、模造紙にまとめた内容をグループ毎に発表して頂きました。

終わりに、この研修で学んだことを活かして福祉に携わる者として基本姿勢を大切にしていきたいと感じました。(記 佐藤唯)

新任職員紹介

前号で紹介が出来なかった職員や、新たに仲間に加わった職員を紹介します。

▼質問内容▲

- ① 自分の長所は？
- ② 趣味や休日の過ごし方は？
- ③ どんな支援者になりたいですか？

大田 明広 (あとり勤務)

- ① 明るく広い心
- ② 妻と一緒に休みの時はドラマイブに行ってます！
- ③ ガンバル職員になりたい！



小平町出身

東 理恵子 (あとり勤務)

- ① 打たれ強く、前向きなところが好きです。
- ② 水泳エアロビなど身体を動かすことが好きです。休日はプールや札幌ドームでフアイターズの応援をしています。
- ③ 利用者さんが悩んだり困ったりした時に最初に顔が思い浮かぶ支援者になりたいです。



留萌市出身

山下 宗介 (げんき勤務)

- ① 仕事に対して真面目なところ。いい加減に見られがちですが・・・
- ② 多趣味です。今年は釣り、パークゴルフや温泉等々
- ③ 悩みや相談を気軽にしてもらえらるような支援者になりたいです。

秋山 香奈江 (ほっぴ勤務)

- ①・・・ないですね。
- ② 家事・育児に専念？しています。
- ③ 利用者の皆さんと働くことの楽しさを共感しながら売り上げアップ出来るよう皆さんと努力する支援者です。



留萌市出身

赤坂 単美 (世話人)

- ① 元気なところです。
- ② 趣味はスポーツです。休日は子供達と遊んで楽しんでます。
- ③ 毎日が手探り状態ですが利用者さんの話をよく聞いて



旭川市出身

出町 早苗 (世話人)

- ① 真面目
- ② 音楽鑑賞・子供のスポーツ観戦、吹奏楽部(演奏会)等の観覧等々
- ③ ケアホームの利用者さんの気持ちや生活を、生活の手伝いができる様努めて行きたいと思えます。



小平町出身



羽幌町出身

# 知恵の輪

## 人権擁護委員(じんけんようごいいん)

人権擁護委員とは、国民の基本的な人権が犯されることが無いように監視し、これが犯された場合にはその救済の為適切な処置を採ると共に自由人権思想の普及に努めることを行う公職とされています。

委員は各市町村長が推薦した者の中から、法務大臣が委嘱し、「日本国籍の成人でかつ選挙権を有する住民」で、見識が高く社会の実情に通じ、人権擁護について理解のある者が委嘱の要件とされています。

任期は3年で職務を行う為の費用は弁償はなされるが、無給の民間のボランティアです。

### ■委員の職務は■

- 一、自由人権思想に関する啓蒙及び宣伝
- 一、民間における人権擁護運動の助長に努める
- 一、人権審判事件につきその救済の為調査及び情報収集を行い、法務局への報告 関係機関への勧告等適切な処置を講ずること
- 一、貧困者に対し訴訟援助他、人権擁護の為の適切な救済方法を講ずること

一、その他、人権の擁護に努める。

以上が委員の仕事の内容ですが、今回掲載したのは、人権に係わる事でお悩みがあれば、北海道福祉協会で行っています権利擁護委員のオンブスマンや北海道福祉サービス適正化委員会等で悩みや苦情の相談を受け付けるだけではなく、皆さんが住んでいる身近なところにも人権に係わる相談を受けてくれる人が市町村に配置されていることを意外に知らない方が多いと思います、今回取り上げてみました。

## 商品紹介

小平牛(黒毛和牛)を使い、じっくり煮込んだお馴染みのカレーに「辛口」が新登場!!

お客様の声から生まれた、少し大人のカレーです。是非食べ比べをご家族でしてはいかがでしょうか。

●お問合せ先●

ほっぷすてっぷ (担当: 槻まで)

TEL: 0164 - 57 - 1188



200 g 350円

【編集後記】  
 ▼昨年は、記事にもありましたが、更生園の耐震工事が完了し、ふれあい広場の開催が出来ました。終わってしまいましたが、何となく毎年行っているものが無いのは、なんともおかしな感じがします。  
 ▼新しい年は迎えますが、何か残り残した気分です。  
 ▼昨年は、3・11に始まり、原発の問題等々で、日本中が暗い年だった気がします。  
 ▼今年はそんな憂鬱な出来事がない、笑顔の多い1年でありたいですね。  
 ▼そんなことを願うながら、今年も機紙担当4名、夜なべして作りましました。中身が無くても、いませんが苦勞したことは理解して下さい。  
 (ホス... 竹島 手下1... 野原 手下2... 草薙 手下3... 丸田)